



横須賀市GIGAスクール構想リーフレット

1人1台のタブレット端末を 活用した学習が始まりました

横須賀市では令和3年度11月までに、市立小・中学校、特別支援学校の児童生徒全員に、タブレット端末を配布しました。

これからは、予測できない社会の変化を前向きに受け止め、主体的に向き合い・関わり合い、自らの可能性を発揮し、より良い社会と幸福な人生の創り手となるための力を育む学校教育の実現を目指します。

配布したタブレット端末を活用して児童生徒の皆さんが、必要な情報を適切な手段で収集・選択・創造・発信できるよう、情報活用能力や情報モラルを身につけてほしいと考えています。

タブレット端末とは？

小学校、中学校、ろう学校は、Chromebook（重さ約1.35kg、画面の大きさ11.6インチ）、養護学校は、iPad（重さ約0.49kg、画面の大きさ10.2インチ）を利用します。タブレット端末にはGoogleWorkspaceのアプリや、授業支援ソフトを導入し、授業を円滑にサポートします。



子ども達の活用方法は？

- 協働学習
子ども同士の意見の整理や発表や話し合いなど子どもが主体的・対話的で深い学習を実現するために活用します。
- 個別学習
子ども達の疑問に対する調査や表現・制作など子ども達の感性や発達に応じた学習を実現するために活用します。
- このほか様々な場面で活用します。

学校での取り組み事例

体育の授業で・・・

運動の様子を録画し、正しい体の使い方を確認しています。

授業の振り返りを・・・

その日の授業の定着度をドリルアプリを使って確認します。

みんなの考え方や意見を・・・

児童生徒の意見をアプリを使って集約し意見交換をしています。

社会の授業で・・・

インターネットでいろいろな国について調べ、発表しています。

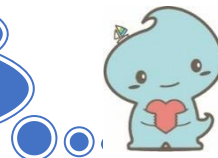
授業が分かりやすいように・・・

授業の流れをモニター等に表示しています。

中学校では生徒総会を・・・

オンラインで開催しています。

タブレット端末の活用 にあたって



個人情報の取り扱いについて

学校において、Google アカウント（養護学校は Apple ID も含む）を利用して情報を取り扱う際には、セキュリティポリシーや著作権法を遵守します。

また、タブレット端末を活用するにあたり、児童生徒一人一人に Google アカウントを発行し、それに伴い、パスワードを個々に設定します。Google アカウントは、基本的には学校で使用します。

情報モラルについて

各学校の取組として、道徳の時間や各教科等の授業の中でタブレット端末の安全・安心な使用ができるよう「情報モラル」の指導をします。例えば、全員が書き込めるよう設定された PC のファイル上で、他者を攻撃するような内容を書いたり、他の誰かが書いたものを意図的に消したりすることは、学校の廊下に掲示してあるみんなの作品に落書きしたり、捨ててしまったりすることと同じようなことです。

これはダメ、あれはダメというのは簡単ですが、自分たちがパソコンを使って行うことが、どのような影響を与えるか、考える時間を学校では大切にしています。

各ご家庭でも、ぜひ折に触れて情報モラルについて話題にさせていただきますようお願いいたします。

タブレット端末を利用する際の制限について

タブレット端末には個人でアプリ等をダウンロードできないように設定し、ホームページの閲覧については、フィルタリングをかけ、一部のホームページを閲覧できないよう設定しています。

タブレット端末の扱い方について

タブレット端末はこれまでも学校で利用している様々な教育備品同様、学校から貸与するものですので、大切に扱っていただけるようご家庭でもご指導をお願いいたします。

万が一、故意の破損や紛失等があった場合については、学校、ご家庭で協議の上、修理費用をお願いする場合があります。

事務担当は、横須賀市教育委員会事務局学校教育部教育情報担当課 ICT 活用推進担当

住所 横須賀市久里浜 6-14-3（教育研究所内）

電話 046-837-1338

E-Mail kyouken@city.yokosuka.kanagawa.jp